

海水浴場水質調査結果(令和2年度)

金沢区の「海の公園」は、市民に親しまれている横浜市で唯一の海水浴場です。5月及び7月に環境省からの通知に基づく水質調査を行った結果を紹介します。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、神奈川県内の海水浴場は開設されていません。また、環境省による全国の「水浴場(開設前)の水質調査結果」のとりまとめは行われませんでした。



1 対象施設及び試料

(1) 対象施設: 「海の公園」海水浴場

(2) 採水日: 令和2年5月18日・19日及び7月7日・9日

(3) 試料: 「海の公園」沖3地点(L・M・R)で、1日に2回(午前・午後)採水した海水。

4日間で計24試料。

なお、採水は金沢福祉保健センターが環境創造局及び公益財団法人横浜市緑の協会の協力を得て行いました。

2 検査項目

水質評価項目及び参考検査項目を表1に示しました。

表1 検査項目

検査担当	水質評価項目	参考検査項目
福祉保健センター	油膜の有無、透明度	水温、気温、透視度、臭気等
衛生研究所	ふん便性大腸菌群数	腸管出血性大腸菌O157
	化学的酸素要求量(COD)	一般細菌数、pH

3 検査方法

令和2年3月30日付け環水大発第2003273号(環境省水・大気環境局水環境課長通知)「令和2年度水浴に供される公共用水域の水質調査結果の報告について」に基づいて行いました。

4 検査結果と判定区分

水質評価項目と参考検査項目の水質検査結果は表2のとおりでした。5月18日・19日の12試料の検査結果及び7月7日・9日の12試料の検査結果を用い、環境省通知で定められた方法で報告値を算出しました。その報告値を水浴場水質判定基準(表3)によって「適(水質AA、水質A)」、「可(水質B、水質C)」、「不適」の5段階に区分しました。

令和2年度は、油膜の有無、透明度及びふん便性大腸菌群数の3項目は「適(水質A)」の基準を満たしていました。化学的酸素要求量(COD)については、5月は「適(水質A)」の基準である「2mg/L以下」を満たしていませんでしたが、7月は「2mg/L以下」を満たしていました。例年、CODは5月が低く7月が高めに推移する年が多い傾向です(図)。今年度は5月の平均値は4.1mg/L、7月の平均値は2.0mg/Lとなり7月が低い結果でした。

令和2年度の判定区分については、5月は「可(水質B)」、7月は「適(水質A)」となりました。なお、昨年令和元年度は5月及び7月ともに「可(水質B)」でした。

表2 令和2年度「海の公園」海水浴場の水質検査結果

検査項目	5月		7月	
	18日	19日	7日	9日
油膜の有無	無 ^{*1}	無 ^{*1}	無 ^{*1}	無 ^{*1}
透明度(m)	1.0以上	1.0以上	1.0以上	1.0以上
ふん便性大腸菌群数(個/100mL)	4~12	6~62	28~42	8~150
COD(mg/L)	2.9~4.7	4.0~4.6	1.8~2.2	1.6~2.4
腸管出血性大腸菌O157(/3,000mL)	不検出	—	不検出	—
一般細菌数(cfu/mL) ^{*2}	8~20	9~39	23~64	15~110
pH	8.4~8.5	8.6~8.6	8.0~8.0	8.0~8.0

*1:「認められない」、*2:参考のため検査しており水質基準はありません

表3 令和2年度「海の公園」海水浴場の環境省への報告値及び水浴場水質判定基準

検査項目	環境省への報告値		水浴場水質判定基準						
	5月 (海水浴場開設前)	7月 (今年度は 開設せず)	可 水質B	適 水質A	適 水質AA	適 水質A	可 水質B	可 水質C	不適
油膜の有無	無 ^{*1}	無 ^{*1}	無 ^{*1}	無 ^{*1}	無 ^{*1}	無 ^{*1}	無 ^{*2}	無 ^{*2}	有 ^{*3}
最小~最大(平均)	(無 ^{*1})	(無 ^{*1})							
透明度(m)	1.0以上~1.0以上	1.0以上~1.0以上	1.0以上	1.0以上	0.5以上	0.5以上	0.5以上	0.5以上	0.5未満
最小~最大(平均)	(1.0以上)	(1.0以上)			1.0未満	1.0未満	1.0未満	1.0未満	0.5未満
ふん便性大腸菌群数 (個/100mL)	4~62	8~150	2未満	100以下	400以下	1,000 以下	1,000 以下	1,000 以下	1,000超
最小~最大(平均)	(20.2)	(54)							
化学的酸素要求量 COD (mg/L)	2.9~4.7	1.6~2.4	2以下	2以下	5以下	8以下	8以下	8以下	8超
最小~最大(平均)	(4.1)	(2.0)							
腸管出血性大腸菌 O157 (/3,000mL)	不検出	不検出	—	—	—	—	—	—	—
pH 最小~最大	8.4~8.6	8.0~8.0	—	—	—	—	—	—	—

*1:「認められない」、*2:「常時は認められない」、*3:「常時認められる」

(注) 判定については、水質評価する4項目(油膜の有無、透明度、ふん便性大腸菌群数、化学的酸素要求量)を用います。全ての項目が「適(水質AA)」の基準を満たす水浴場の判定は「適(水質AA)」となります。ただし、一つでも満たさない項目があると、その項目の基準を満たす区分が水浴場の判定となります。いずれかの項目が「不適」である水浴場を「不適」とします。

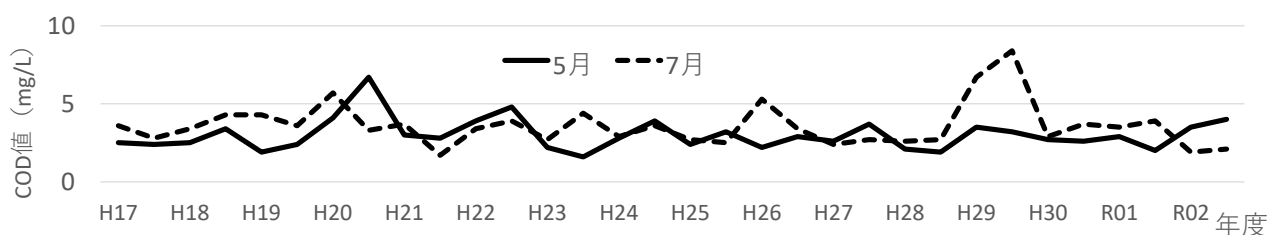


図 平成17年度~令和2年度 化学的酸素要求量(COD)の5月・7月の推移 R地点 午前

【 理化学検査研究課 環境化学担当、微生物検査研究課 細菌担当 】